



# 紫野学区 防災まちづくり News

編集・発行：紫野学区自主防災会（会長：白瀧 雅章）  
紫野学区社会福祉協議会（会長：林 正則）

## 創刊号

平成 27 年 5 月

## 🍎 ごあいさつ

（紫野学区自主防災会 会長：白瀧 雅章）

### §§ 平成 27 年度 紫野学区自主防災会活動のお知らせ §§

災害はいつ何時襲ってくるかわかりません。“備えあれば憂いなし”と言われておりますが、個々人において、ご近所の地域においても、常々災害時の対応策を講じる必要があります。

そのため、紫野学区自主防災会では昨年、全町内会に災害時の指標として、避難所運営マニュアルを配布し、防災訓練を行いました。

今年度、当会の事業活動として『北区総合防災訓練の開催』及び、紫野社会福祉協議会、京都市まち再生・創造推進室との連携により、各町内会単位においての『防災まちあるき』の取組を行います。

“防災まちづくり News”を創刊し、数回の発行を行い、この活動の状況等について、学区民の皆さまにお知らせいたします。

災害対応力の向上を目指す為、我々と共に各町内会の町内会長、自主防災部長、住民の積極的なご参加、ご協力をお願いします。



## 🍎 防災まちづくりの取組を始めました

紫野学区は、京町家が軒を連ねて立ち並び、情緒豊かな町並みや路地の雰囲気が残るなど、京都らしい歴史的な風情を湛えています。一方で、細街路（幅員が4m未満の道）や袋路（行き止まりの路地）、古い木造家屋が密集する地域が多く、大規模な地震等が起きた際には建物の倒壊や火災が広がるなど、防災上の大きな課題を抱えています。

そこで、こうした密集市街地の改善を目的として、平成 26 年度より『防災まちづくり』の取組を始めました。

紫野学区の実情に応じた防災まちづくりの取組を進めるためには、まずは身近な課題を発見・再確認することが重要です。そこで、町内単位を基本に『防災まちあるき』を実施しています。実際にまちを歩いて、それぞれの町が抱える防災上の課題などを共有するとともに、住民の方から防災上の不安や改善に向けた意向の聞き取りなどを行っています。

学区内の全町内を対象に、年内を目処に順次まちあるきを実施していく予定としております。詳しい日時等は別途ご案内いたしますので、皆さんがお住まいの町で案内があった際には、ぜひともご参加ください。

**第1回** (H27.1.24 土) 参加者：33名

対象：横路東町，横路西町，金鷄町，南舟岡東南町

**第2回** (H27.2.21 土) 参加者：32名

対象：上築山北町，上東野町，藤ノ森仲町，  
藤ノ森西南町，南舟岡本町，南舟岡中町



道幅の計測



建物や避難経路の確認



地域住民への聞き取り



子供も一緒に参加



最後に全員で意見交換

裏面もご覧ください。

# 「防災まちあるき」から始まる防災まちづくり

## 1. 防災まちあるき ～身近な課題を発見・再確認し、みんなで共有する

### 現状の把握

- 道の状況（幅員、避難経路の有無・安全性等）
- 建物の状況（古い建物、空き家、ブロック塀等）
- 地域集合場所（看板の有無、避難しやすさ等）
- その他（路地の管理状態、段差、高齢者等）



### 振り返りワークショップ

- 現状の再確認
- 危険箇所や課題の共有
- 課題解決に向けた意見交換、地権者情報の聞き取り等



## 2. 防災まちあるきの取りまとめ ～まちあるきの成果を「具体化」する

【現状・課題の整理】

【対策の方向性・具体的取組の整理】



## 3. 各町への結果の報告

- 防災まちあるきの結果を取りまとめ、各町（町内会長）へ報告します。
- アンケート調査により、対策の方向性やすぐにでもできる対策箇所等を把握します。

## 4. 防災性向上に向けた具体的な取組

- 防災まちあるきの結果を踏まえ、各町が主体となり、学区全体との連携や京都市の助成制度の活用などを図りながら、具体的な防災まちづくりの取り組みを進めていきます。

路地奥への避難用扉の設置  
避難経路の安全確保、適正管理  
建物等の耐震・防火改修  
管理不全の空き家対策  
防災ひろばの整備

地域集合場所の見直し  
避難に関するルールづくり  
災害時要配慮者等の把握  
空き家の利活用  
防災情報の発信、啓発 など



路地奥の避難用扉の設置例

各町内や学区全体の防災性を高めるための取組などについて、住民の皆さんで意見交換

防災まちづくりマップ、学区全体の防災まちづくり計画



# 紫野学区 防災まちづくり News

編集・発行：紫野学区自主防災会（会長：白瀧 雅章）  
紫野学区社会福祉協議会（会長：林 正則）

## 第 2 号

平成 27 年 9 月

## 🍎 災害図上訓練（D I G）を実施しました！

紫野学区では、各町内の防災に関する現状と身近な課題を地域の方々に発見・再確認し、具体的な対策について意見交換するため、「防災まちあるき」を順次進めています（裏面参照）。

防災まちあるきによって得られた情報を基に、地域住民個々の安心安全対応及び地域の災害対応力の強化を図るため、北消防署・大徳寺出張所の進行の下で、災害図上訓練（D I G）を実施しました。

防災まちあるきの進行に合わせて、学区内全ての班でD I Gを実施するとともに、結果を今後の防災まちづくりの取組や避難行動マニュアル等に反映していきたいと考えております。

日時：平成 27 年 8 月 6 日（木） 19：30～21：00

会場：紫野小学校 ふれあいサロン

対象：5 班（上築山北町，上東野町，今宮大徳寺町，西野西町東部，西野西町西部）

6 班（東舟岡北町，東舟岡町，東舟岡南町，宮腰町，南舟岡北町）

参加者：各町の町内会長及び防災部長（延べ 45 人）

### 災害図上訓練（D I G）とは？

大きな地図をみんなで囲み、経験したことのない災害をイメージして地域の課題を発見し、災害時の対応や事前の対策などを検討するための手法の一つです。



自主防災会  
からの  
お知らせ

安心安全に暮らせるまちを目指して、自主防災会活動に取り組んでいます！！

◆北区総合防災訓練（10月25日） 京都教育大学附属小・中学校周辺で実施！

◆紫野まつり（11月8日） 「防災まちづくりコーナー」を企画（予定）

◆災害図上訓練（D I G） 未開催の他の班も、随時、実施予定！

乞うご期待！

裏面もご覧ください。





# 学区の約7割で防災まちあるきが終了

## 延べ182人が参加しました！

今年1月から開始した「防災まちあるき」は、9月現在で計6回を数えました。学区内52ヶ町のうち、35ヶ町（約7割）で終了し、延べ参加人数は182人におよびます。参加していただいた皆さんに御礼を申し上げます。

まちあるきの結果、各町内の防災上の課題がたくさん分かってきました。年内を目処に残りの町内のまちあるきを実施するとともに、今すぐ出来る対策にも取り組んでいきたいと思しますので、ご協力をお願いいたします。

|              |  |
|--------------|--|
| 第1回：1月24日（土） | 横路東町，横路西町，金鷄町，南舟岡東南町                     |
| 第2回：2月21日（土） | 上築山北町，上東野町，藤ノ森仲町，藤ノ森西南町，南舟岡本町，南舟岡中町      |
| 第3回：5月23日（土） | 北藤ノ森西町，宮腰町，南舟岡北町，昭和町，藤ノ森元町，藤ノ森東南町        |
| 第4回：6月20日（土） | 今宮大徳寺町，西野西町東部，西野西町西部，東舟岡北町，東舟岡町，東舟岡南町    |
| 第5回：7月11日（土） | 山元南町，山元北町，南舟岡東町，南舟岡南町，南舟岡町，南舟岡末広町，南舟岡西南町 |
| 第6回：9月5日（土）  | 北舟岡町東部，北舟岡町中部，北舟岡町西部，北舟岡町南部，南舟岡西町，コスモ紫野  |



特に狭い路地だね



空き家をうまく活用したい



階段が急で危険！

町内で手すりを付けたよ



昭和ノスタルジーな雰囲気路地だね



ブロック塀に扉を付ければ路地奥に避難できそうだね



船岡山の周辺は土砂災害も心配



背が高くて古いブロック塀

### 参加していただいた方の主な声

- 😊 改めて自分の町の様子が分かった（複数）
- 😊 隣の町内のことも分かって良かった（30代 女性）
- 😊 狭い道が多くて驚いた（50代 男性）
- 😊 空き家が多いのに驚いた（複数）
- 😊 防災のことについてしっかり考えることが大切だと感じた（60代 女性）



# 紫野学区 防災まちづくり News

編集・発行：紫野学区自主防災会（会長：白瀧 雅章）  
紫野学区社会福祉協議会（会長：林 正則）

## 第3号

平成28年2月

## 紫野学区全52町で防災まちあるきが終了！ 全9回，延べ約260名が参加！

紫野学区では、各町内の防災に関する現状と身近な課題を地域の方々で確認し、具体的な対策について意見交換するため、平成27年1月より「防災まちあるき」を進めてきました。

この度、ちょうど1年をかけて学区内全52町でまちあるきが終了し、全9回、延べ約260名が参加されました。参加及び貴重なご意見をいただいた方々に御礼を申し上げます。

まちあるきの結果を踏まえ、今すぐできる対策を進めるとともに、防災まちづくりの計画を作成し、安心・安全なまちづくりに向けて皆さんと一緒に取組んでいきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 第1回：H27.1.24(土) 横路東町，横路西町，金鷄町，南舟岡東南町
- 第2回： 2.21(土) 上築山北町，上東野町，藤ノ森仲町，藤ノ森西南町，南舟岡本町，南舟岡中町
- 第3回： 5.23(土) 北藤ノ森西町，宮腰町，南舟岡北町，昭和町，藤ノ森元町，藤ノ森東南町
- 第4回： 6.20(土) 今宮大徳寺町，西野西町東部，西野西町西部，東舟岡北町，東舟岡町，東舟岡南町
- 第5回： 7.11(土) 山元南町，山元北町，南舟岡東町，南舟岡南町，南舟岡町，南舟岡末広町，南舟岡西南町
- 第6回： 9. 5(土) 北舟岡町東部，北舟岡町中部，北舟岡町西部，北舟岡町南部，南舟岡西町，コスモ紫野
- 第7回： 10.3(土) 新御所田町，御所田公町，御所田東町，東御所田町，宮御所田町，中宮町(一部)，宮東町
- 第8回： 11.21(土) 西御所田町，雲林院南町，パークシティ北大路，宮西町，中宮町(一部)
- 第9回：H28.1.23(土) 築山北町，築山南町，築山西町，北藤ノ森東町，藤ノ森西北町，藤ノ森東北町



裏面もご覧ください。



# 防災上の問題・課題が分かってきました！

きめ細かくまちあるきを行ったことで、各町内や紫野学区が抱えている防災上の問題・課題をおおむね把握することができました。

今後、これらの課題を解決するために必要な取り組み等を検討し、安心・安全なまちづくりに向けて、着実に取り組んでいきたいと思えます。

## 建物に関すること

- 木造家屋が密集している地域が多く、火災が起きれば延焼のおそれがある
- 古い木造家屋が多く、地震時に倒壊して、自分の身に危険を及ぼすだけでなく、避難経路を塞ぐおそれがある
- 空き家が増えており、適正に管理されておらず危険な状態のものもある
- 背の高いブロック塀や古いブロック塀が見られ、地震時に倒壊して避難経路を塞ぐおそれがある
- 旧お風呂屋さんの煙突が老朽化しており危険
- 京町家が立ち並ぶなど残したい雰囲気のみがある

## 道に関すること

- 幅員の狭い路地が多く、広い道に出るまでの避難に不安がある
- 狭い路地が複雑に入り組んでいる地域もあり、消防車等が入って来れない
- 行き止まりの路地（袋路）が多く、路地の入口が塞がれると避難できなくなる
- 建替え時に建物を後退して道が広がっているところもあるが、狭い敷地では後退が難しい
- 勾配が急な階段があり、高齢者等は避難が難しい
- 路地上に物が置かれており、避難する上で支障となるおそれがある

## まち全体に関すること

- まちなかに広場が少なく、火災時の延焼が広がるおそれがある
- 地域集合場所の案内板がない町内がある、地域集合場所を知らない人がいる、地域集合場所までが遠い
- 船岡山の周辺では土砂災害のおそれがある
- 消火器は多いが、使用期限が切れていたり、物で隠れている場所がある
- 高齢者が多く、一人暮らしの方もおり、災害時に安全に避難することが困難
- マンション住民が多く、地域とのコミュニティを築くことが重要
- 企業が多く、地域と上手く連携することが重要

(これらの課題は、防災まちあるきで出た意見の一部です。)

課題解決に取り組みたいと思われた方は、自主防災会役員にお声掛けください。

**課題解決に向けて皆さんと一緒に  
取り組んでいきましょう！**

まちの安心・安全を高めていくためには、これらの課題に対する**具体的対策**に**着実に**取り組んでいく必要があります。まずは、**私たち一人ひとりが防災に対する意識**をしっかりとち、**今すぐできることから**取り組んでいきましょう。

《参考》 他の学区では、こんなことに取り組んでいます



● 袋路の奥に緊急避難用扉を設置（2方向避難の確保）



● 路地入口の建物の耐震改修



● 空き地を利用した防災ひろばの整備（まちなか commons）



● 古いブロック塀を安全な塀に改善